

## 各科紹介コーナー

# 消化器センター

消化器センター センター長 中浦 寛

消化器センターについて紹介します。

この機会に当院の歴史を調べてみました。

複十字病院は、1939年に設立された財団法人結核予防会のもとに、1947年に結核研究所臨床部として病床開設されました。1958年結核研究所付属診療所に変更。1977年に結核研究所附属病院に変更され、呼吸器疾患全般に拡大され、そのときに消化器科が開設されました。ちなみに、1989年に複十字病院に名称変更されました。



消化器センターは、現在、常勤医は消化器外科医6名、消化器内科医1名で、消化器内科、消化器外科の外来・入院診療のほか、内視鏡検査・治療、外科手術を中心に行っています。

胃癌、大腸癌、胆石症・胆嚢炎、急性虫垂炎、鼠径ヘルニアなどに対し手術を行っています。症例により患者負担の軽減も考慮し腹腔鏡下手術も行っています。

消化器内視鏡件数は年間4,500～6,500件程度行っています。

内視鏡治療は、胃や大腸のポリープや早期癌に対しては、内視鏡的粘膜切除術（EMR）や内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）を行っています。

内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査（ERCP）による胆道（胆嚢や胆管）・膵管（膵臓の管）に対する検査とERCP手技を応用した治療を行っています。

主に総胆管結石（胆管に結石がある病気）に対しては内視鏡的乳頭切開術（EST）や内視鏡的採石術、胆管癌や膵癌による胆管閉塞に対しては内視鏡的逆行性胆管ドレナージや胆道ステント挿入等を行っています。

消化器センターでは、内視鏡検査などによる内科的経過観察から、次なる治療が必要になった時の内視鏡的治療や外科的手術まで、カンファレンスを行いながら、治療方針を相談しています。

健診結果や治療について、不安や心配がありましたら、外来にてご相談ください。

### 過去の各科紹介

呼吸器内科



呼吸器外科



# 第2回市民公開講座が1月20日（土）に行われました！

事務局 松田 源太



2024年1月20日（土）に市民公開講座が行われました！

幸いなことに今年度2回目の開催となり、前回よりも趣向を凝らした内容で実施することができました。

当日はあいにくの雨模様でしたが当院呼吸器内科國東医師の講演に加え、清瀬市公式キャラクターの「ニンニンくん」や結核予防会の「シール坊や」も清瀬市の魅力を紹介すべく駆けつけ、大変な賑わいとなりました。

また今回はスペシャルゲストとして民謡歌手の佐野よりこ様をお招きし、素敵な民謡や迫力ある三味線のコンサートを観覧させていただきました。

次回の市民公開講座は2024年2月10日、3月23日を予定しております。2月は消化器、3月は乳腺について講演いたします。

事前のご予約や参加費用は不要となっておりますので、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

## 「今だから知っておきたい 感染症とワクチン」

呼吸器内科/ICD 國東 博之

2023年5月WHOはCOVID19パンデミックの終息宣言を行い、わが国日本もようやく以前のような日常生活を取り戻しつつあります。COVID19パンデミックを終息に導いた主役はワクチンであり改めてその重要性を認識することができました。古くから人類はワクチンにより微生物から感染防御してきました。日本では生下時から10種類以上のワクチン（定期接種と任意接種合わせて）を接種することができます。成人を経て50代、60代以降は加齢により免疫力は低下するため带状疱疹や肺炎球菌肺炎を発症するリスクが高まります。これに対してはそれぞれにワクチンが存在し接種することで感染率を低下させることが分かっています。ただワクチンも万能ではありません。インフルエンザワクチンは発症率を30%程度抑えるのみというデータもあります。また副反応により接種できない人も少なからずいます。よって皆さんには各々のワクチンをよく理解しご自身の責任で必要なワクチンを選択してほしいと思います。皆さんはコロナという数十年に1度のパンデミックを乗り越えてきました。この経験が確実に次のパンデミックの備えになるでしょう。



講演中の國東医師

## 佐野 よりこ

東日本大震災を経験した私たちにとって本当に辛く胸がいたむ年明けとなりました。ここにこの度の能登半島地震で被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

「民謡は心の故郷」とよく言われます。民謡は昔から生活に根ざした音楽です。仕事うた、祝いうた、祈りのうた、自然への恩恵に感謝した神々への讃歌など。時には先人の教えや、知恵を授けてくれます。

私事ですぐ2011年の東日本大震災で故郷の釜石は壊滅状態となり一瞬にしてなくなりました。今だに悪い夢であってほしいと思います。大きな黒い波は大切な両親、親戚、多くの人々の命を奪いました。今まで当たり前と思っていたものが実はそうではなかったことに気づかされました。失って初めてその尊さを教えられました。

生かされた自分の使命は津波の教訓を伝えていくこと。その思いを民謡に込めて多くの人に知ってほしいと心から願っています。

最後にこのような機会を与えてくださった複十字病院の皆様、清瀬市の皆様に心から御礼申し上げます。ありがとうございました。



佐野よりこ様とシール坊や(左)、ニンニン君(右)



三代目井上成美様の三味線を伴奏にお歌いになる佐野よりこ様

## 佐野 よりこ

民謡歌手・フリーアナウンサー・ラジオパーソナリティ  
岩手県釜石市鶴住居町出身。3歳の頃から民謡を始める。  
20歳で日本コロムビア全国民謡コンクール青年の部優勝。  
その後数々の民謡全国大会で優勝を収め、2016年日本郷土民謡協会全国大会で優勝し内閣総理大臣賞を受賞。現在はラジオ、ステージやカルチャースクールなどで民謡の魅力を伝えている。釜石市物産観光親善大使。  
エフエム岩手「よりこのうたラジ」毎週木曜13:30~15:00生放送！



## 新しい認知症治療薬について

複十字病院 認知症疾患医療センター長 飯塚 友道

認知症は高齢者の二人に一人（55%）が生涯に罹患する疾患で、高齢化率が上昇するとともに患者数も増える一方です。その認知症の約7割はアルツハイマー病です。これまで、特効薬は存在しませんでした。レケンビ®という新薬が昨年末に保険適用となりました。

この新薬登場は認知症対策が新時代に入ったことを意味します。

レカネマブは、アミロイドβというアルツハイマー病の病原タンパク質を脳から除去して病気の進行を遅らせる薬剤です。この治療薬の登場で、早期診断の精度がこれまで以上に重要となり、さらには、これまで以上に診断結果に対する責任が重くなります。

また、レケンビ®の治療費は年間約300万円ですが、高額療養費制度を利用すれば、70歳以上の平均年収の方では、自己負担は年間14万4千円となります。確かに高額ですが、これは認知症患者の一年間の介護費用と同程度くらいなのです。通常、介護費用は10年以上継続して必要になります。

その点から考えても、特に経過の長い、60代～70代の比較的若い患者さんにとっては、朗報に違いありません。

この新薬が患者さんとご家族の希望になることを願ってやみません。



## UDCAアワード2023にて奨励賞を受賞しました

12月26日にユニバーサルコミュニケーションデザイン協会事務局長の三村様にご来院くださり、「みんなの文字」Webフォント利用の好事例としてUDCAアワード2023奨励賞をご表彰いただきました。

当院は東京都地域医療支援病院として分かりやすく患者さんへ情報をお伝えできるよう今後とも注力してまいります。



# 大地、震へる前に ②トイレ編 (その1:トイレは二番目に重要) 内山 隆司

病院における震災時の対応で最も重要なのは「人の参集」と考え、まず始めに「規制除外車両」を取り上げた。二番目に重要なのは、当初「電気」と考えていたが、今は「トイレ」だと考えている。

なぜ重要か？水分さえ摂っていれば、食べなくても「日単位」で「我慢できる」が、トイレは「時単位」でしか「我慢できない」。そして、例外なく万人に関わる問題である。映像として報道され難いため、事の重大さが認識されていない。

建物内の下水は「汚水（大小便、汚物）ルート」「雑排水（汚水以外）ルート」の二系統に分かれ、公共の下水に入る手前の汚水枡（地中に埋設）で合流する。

震災時に困る下水管のトラブルには「破損（漏れる）」と「閉塞（詰まる）」があるが、どちらも流水しないとその発生が判り難い。しかし無暗に流水すると、下階が悲惨な目に遭う場合がある。

当院の本館は1976年完成で築48年が経過している。震災時に水回りのトラブル発生の可能性は「あり得る」と考えている。よって防災管理委員会では以下の「震災時トイレ使用の原則（2023）」を決定した（中央館、南館を含む全館に適用する）。

- ①清瀬等（清瀬市あるいは東久留米市）震度5弱以上の地震を対象とする。
- ②全館1階のトイレは、立位座位便器ともに流水可とする（玄関放射線科横と採尿室には下階があるので流水禁止）。
- ③全館2階以上の共用トイレはすべて流水禁止。個室トイレは使用禁止。
- ④流水禁止の際は、大小便ともに座位便器にトイレセットを取り付けて使用。立位便器は使用禁止。
- ⑤本館病棟は東西2か所、他病棟は1か所の共用トイレの座位便器男女各2台を限定使用する。
- ⑥ポータブル便器も、トイレセットの装着方法を指導の上、使用する。
- ⑦使用禁止便器には「使用禁止」を明示。
- ⑧各共用トイレに使用済みトイレセットを捨てるポリ袋と感染ゴミ箱（おむつ処理と同じ）を準備。

各部署に周知の上、トイレセットがそろい次第、運用開始予定である。

次回 「②トイレ編 (その2:トイレセット)」 に続く ▶



複十字病院は  
公益財団法人結核予防会の病院です

## 予約・紹介のご案内

- **受付時間**  
平日 8:30~17:00 土曜日 8:30~12:00
- **医療機関・紹介状をお持ちの患者さんのご予約**  
電話 042-491-9128  
FAX 042-491-3553
- **再診・初診（紹介状なし）のご予約**  
電話 042-491-6228

**複十字病院**  
〒204-8522  
東京都清瀬市松山3-1-24  
代表電話 042-491-4111  
代表FAX 042-492-4765



## 交通のご案内

- **電車でお越しの方**
  - ・西武池袋線『清瀬駅南口』より徒歩12分
  - または、バス『南口2番乗り場』より3つ目『複十字病院前』下車
  - ・JR中央線 武蔵小金井駅より『清瀬駅南口ゆき』バス『保育園入口』下車  
バス停より徒歩5分
- **お車でお越しの方**
  - ・小金井街道『清瀬高校入口』信号を曲がり 西に300メートル
  - ・所沢街道『全生園東』信号を曲がり病院通りを東北に2キロメートル